



アメリカの里親制度から 学ぶ—これからの日本の 里親の在り方を展望して

- 社会福祉法人麦の子会理事長 北川聡子
- (養育里親・専門里親・FH)

日本子ども虐待防止学会 第30回学術集会かがわ大会 2024年11月30日 スポンサーズセッション
JaSPCAN

テーマ：アメリカにおける乳幼児の家庭養育の推進とQPI

発表者に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。

里親ふつうの家庭

- 普通の思い—どんな状況になっても子どもには家庭
- でもいろいろな家庭がある
- 家庭はクローズになりやすい
- 家庭で起きる虐待

日本の里親制度

- 1947年：児童福祉法制定 里親制度が誕生里親養育が「私的なものから公的な措置」へと位置づけ
- 1987年：特別養子縁組制度
- 2000年：里親登録（里親手当て27000円・二人目半額）
- 2002年：里親の種類区分「専門里親」が創設.ファミリーホームの創設
- 2011年：施設よりも里親の委託を優先すべき
- 2016年：児童福祉法改正 里親支援の拡充「新しい社会的養育のビジョン」
- 2024年：里親手当て72000円二人目も同額

日本の里親の地位は？

- 里親は里子を、自分のプライベートな空間に招き入れ、社会的な養護を行う。
- 措置：行政処分—施設の事故は公的な責任里親は、保険で支払っている
- 家庭養育の良いところ—何よりもアタッチメントメント形成により、自他共への信頼感、人間としての土台のが自然に育つ場そのこどもの一生に影響。社会への信頼と自立
- 家庭養育のリスク—何かあった時は脆弱。クローズになりやすい、その家の子育て価値観に影響されやすい。

里親家庭は、しっかりと社会的養護を担う役割がある

- リクルート・登録前研修で、明確に社会的役割を担う存在であることへの学び
- 親子分離だけでもトラウマである。そのことを踏まえて、自分の価値観だけではなく、社会的に子育てのことを常に学び続ける姿勢の必要性（その子に発達・期待値・トラウマ・特性・気持ちに寄り添う事・ペアレントトレーニング等）
- オープンな子育て、里親家庭との繋がリーピアでの支えあいの大切さ
- 社会的支援を受けることの専門性（助けを求めることの専門性）
- チーム養育が基本である

里親の社会的役割の意識醸成のために

- 半分はプライベートで行っているが半分は社会的に子どもを育てている。
- 心はお母さん・お父さん、社会的には子どもをしっかりと守り育てる役割、時には実親も支える子育て支援の役割
- ⇒ 里親は支援するという価値・心を持った職業的な意識と役割をもっていかなければならない。
- 里親の立場の曖昧さが、児相や支援機関とパートナーシップや、対等なチーム養育を阻んでいる。
- 里親同志のピアのつながりの大切さ—自分の家庭で育てているという仲間の中でのピアカウンセリングによるエンパワースメント

赤ちゃんには 家庭が必要

- キャロルという74歳の弁護士が、乳児院のような所で働いていた。沢山の赤ちゃんがいた！自分の生まれた赤ちゃんは、ここでは、育てられないと思った！
- 赤ちゃんは、特定の大人＋アルファによって丁寧に育てられないと大人になるにつけメンタルヘルスの問題になる。
- 「ただただ赤ちゃんには、家庭が必要。」施設ではダメ！と思い、裁判を起こす。
- 郡と州を相手に訴訟をおこして、勝った！
- 今は、カリフォルニアでは、子どもは、施設でそたててはいけない法律を作った方！それが弁護士キャロル！

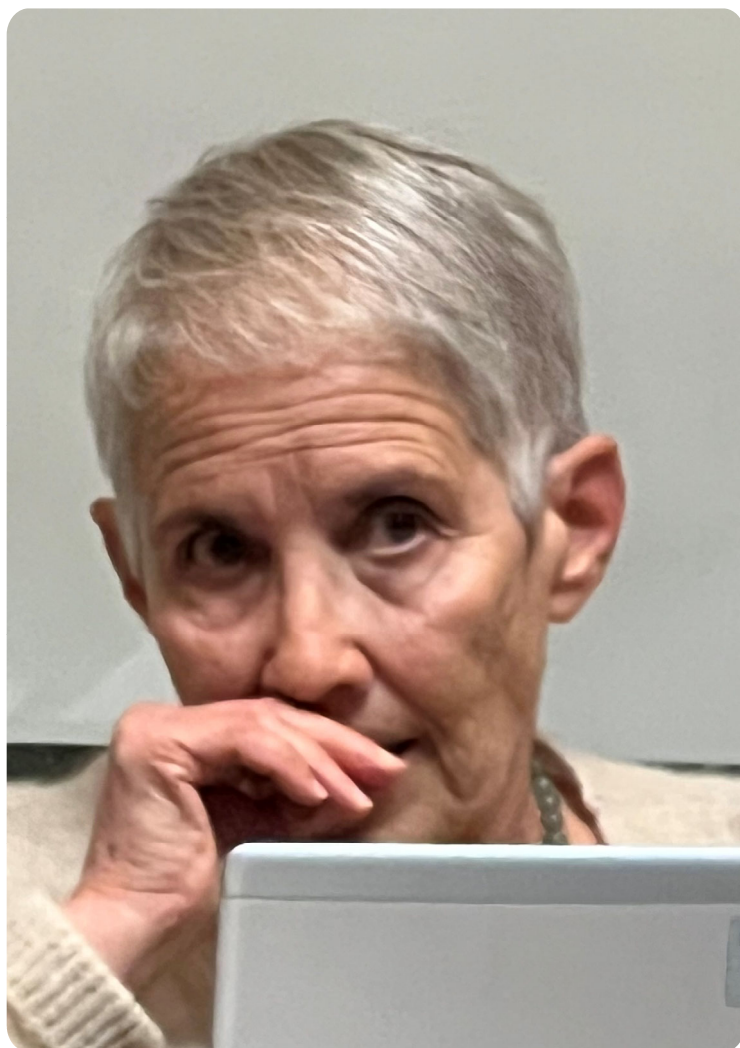


里親の地位向上

- QPIークオリティーペアレントイニシャチブー質の高い子育て行う必要がある。
- QPIは、プログラムではなく、里親そのものがいかにあるべきかの考え方！
- 里親当事者の権利が大切。ーベッドやホテルではない。子どもと安心・癒される関係を構築する場だから、施設ではなく家庭が必要。
- カルチャーシフトが必要
- 児相、ソーシャルワーカー 里親と実親とのパートナーシップで、里子を育てる。
- 実親も大切にされなければならない。
- 里親は、大切なことをしている。もっと社会から、リスペクトされる必要がある。地位を上げる必要がある。
- エクセレントな里親になるために、学びと里親同士の支え合いが必要。
- 施設シェルターは、200人定員だったが、今は、20人の一時保護の子どもだけ。
- 施設は、支援機関・一時保護所的な役割となっている。



里親さんと
支援機関の方々
実親さんも
参加していた



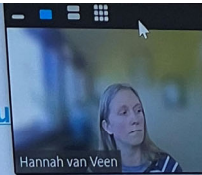
赤ちゃん・子どもへの愛に基づいて

- ♡♡ 全て赤ちゃんだったら、(子ども)だったら、どんなケアを受けたいかに、基づいている！♡♡
- 障害のある子ども、社会的養護が必要になった時、家庭で育てられるべき！
- 良いファミリーが必要！という事を大切に歩んで来た！
- ミスや失敗をして成功につながる。
- **子どもにはファミリーが必要**
- コミュニティから外そうとするのは差別である (サンタクララの施設を閉鎖したディレクター)
- **エクセレントな里親はトレーニングが必要。支えあうチームのメンバーである必要がある。**

こどものケアニーズによって手当が変わってくる

Caregiver Supports Model

Project Website: <https://www.dcyf.wa.gov/services/foster-parenting/caregiver-su>



	LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	LEVEL 4	LEVEL 5	LEVEL 6	LEVEL 7
New Support Levels	Basic Maintenance Foster Care	Support Needs: Adolescent Low Needs	Support Needs: Chronic Physical Health	Support Needs: Developmental Disability	Support Needs: Developmental Disability & Chronic Physical Health	Support Needs: Moderate Mental Health	Support Needs: Complex Mental Health
Placement Supports for Licensed and Unlicensed Caregivers – includes Case Aides for levels 3-7							
Rates for Caregiver Support Levels Based on Age (Licensed Caregivers) – Level Rates include Basic							
Age: 0-5	\$722	N/A	\$1,407	\$1,749.50	\$2,092	\$2,434.50	\$2,777
Age: 6-11	\$846	N/A	\$1,531	\$1,873.50	\$2,216	\$2,558.50	\$2,901
Age: 12+	\$860	\$1,202.50	\$1,545	\$1,887.50	\$2,230	\$2,572.50	\$2,915

These reimbursements are only for licensed caregivers. Licensed caregivers included licensed kin.



ワシントン州の里親さんたち

定期的なミーティング・クリスマス会などの行事やレスパイトでの預かりなどモッキングボードシステムなどの中で支えあっている。

- ・ 赤い服を着たダイアナさんは35年のベテラン里親さんで、特別養子縁組をしたこどもの里親をしている。
- ・ 黒い服を着た里親さんサラは実子も含めて8名の子どもを育てている。医療的ケアの子もいる。
- ・ コーリー夫妻は、みんなを支える立場で動いている。

子どもがどんな
状況になっても、
その子らしく輝いていく
ために

日本の里親も、社会的にリスペクトされ、子どもに権利をまもり寄り添えるエクセレントな里親になる努力もし、里親に寄り添い型の支援もあり、チームでみんな子どもを育てていきましょう。